

1. 基本事項

事務事業名	小中一貫教育推進事業			事務事業コード	312-101-62
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	学校教育課
	政策名	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄つ子を育成する	担当者	高橋 晋也
	施策名	2	地域に根ざした学校教育の充実	内線	444
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款1項5目	小中一貫教育推進費	予算コード	01-100105-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度                      事業年度 平成      年度				
	<input type="radio"/> 期間限定                      始期      年度      ~      終期      年度				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続)      開始年度 平成 21 年度 ~				

2. 事務事業の概要

目的	学校教育の様々な課題を解決するため、学力向上、生徒指導の充実、「ふるさと学習」の充実、小中教職員の協働の視点から小中連携をさらに進化させた小中一貫教育を導入する。	事業内容	地元の意向を尊重しながら、有利な補助制度等を活用して小中一貫教育校を新庄市が設置する。施設一体型である萩野小中学校開校の準備を通して、他の中学校区の複線型、単線型の小中一貫教育校を進めることで小1プロブレム、中1ギャップの解消を図り、いじめ、不登校、学力低下に対する有効な教育環境を整備する。		
対象	市内小中学校の児童・生徒及びその保護者等				
目指す状態	小中一貫教育の実践研究と萩野地区小中一貫教育校の開校準備(カリキュラム検討等)を通して、また小中の連携や小小、小中交流を通して、小1プロブレム、中1ギャップといわれる問題の減少や地域の人々の学校教育への積極的な参加がみられる。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 (                      )		

3. 実施状況

活動指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27目標
				実績	-	1	2	5	27	
成果指標	指標名称	友人関係、教師との関係が原因の不登校件数	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27目標
			実績	-	5	2	2	0		
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	・H22~H23年度に、小中一貫教育基本計画策定委員会による基本計画の策定済み ・H24年度より、小中一貫教育基本計画に基づき、萩野地区小中一貫教育実施計画の策定がスタートしている。 (~平成26年度まで)									
成果(どのような状態になったか)	新庄市における小中一貫教育に関して、教職員の理解が進み、小中、小小の交流が盛んになっている。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	事業費の算出根拠(H25)		
事業費 … ①		283	541	825	1,293	2,104	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	受益者負担								
	その他特財								
	0	283	541	825	1,293	2,104	主な歳出の内訳		
人件費 … ②	0	4,714	4,280	5,351	5,915	12,141	・策定委員、検討部会・作業部会委員への報酬	676	
内訳	正規職員(人)		0.56	0.51	0.65	0.76	1.56	・講師謝金	83
	1人当たり単価		8,418	8,393	8,232	7,783	7,783	・旅費(費用弁償・旅費)	117
費用合計(①+②)	0	4,997	4,821	6,176	7,208	14,245	・需用費(消耗品・役務費)	182	
臨時嘱託等(人)							・スクールバス賃借料	138	
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	実施計画策定に係る検討部会・作業部会開催回数の増加に伴う委員報酬の増のため。						・小中一貫教育全国連絡協議会負担金	30	

5. 自己評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	地域に根ざした小中一貫教育の実現を目指している。
	②市が税金を投入して行う必要があるか	● 妥当である ○ 見直しの余地がある	市立小中学校の事業であり、市が実施しなければならない。
	③対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	萩野地区の小中学区を対象とした小中一貫教育校の実現、そしてそこから市全体への広がりを目指しており、適切である。
有効性	④成果の向上余地がないか	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	学習の質の向上や校舎の効率的な利用が図られる。
	⑤廃止・休止した場合の影響があるか	● 影響がある ○ 影響がない	耐震基準以下の校舎が残ることと生徒数の減少への対応が問題となる。また、市内の一貫教育へのモデル校事業が推進できなくなる
	⑥類似事業と統廃合・連携できないか	● 統廃合・連携できない ○ 統廃合・連携できる	類似事業がない。
効率性	⑦成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	財政的な視点も視野に入れて進めており、適切である。
	⑧人件費の削減余地はないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	市内全域へ推進するための調整のための最低限の人員である。
	⑨実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	地域の意向を尊重しながら進めており、適切である。

6. 上記評価で出された課題

前回の評価(H24実績評価)	今回の評価(H25実績評価)
実施計画の策定が進んでいるが、まだ途中段階で、絶えず検証し、改善を行いながら進めていく必要がある。	各中学校毎の小中一貫教育が日常的に行われている。小中の交流、小中の交流、小中の職員の交流が活性化し、小中のゆるやかな接続が可能となってきた。一方で、地域、保護者への啓発がまだ足りない。今後は学校を支える地域、保護者に小中一貫教育への関心を高める必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

H27年度開校の施設一体型小中一貫教育校萩野学園の開校に向け、具体的に準備を行っている。加えて昨年度は、各中学校区に小中一貫教育推進協議会を、さらに市の小中一貫教育推進協議会を設置した。

7. 上記課題に対する改善方法

前回の評価(H24実績評価)	今回の評価(H25実績評価)
策定委員会の下部組織に、検討部会や作業部会を設置し、細かな検討事項について検討を行い、その報告を策定部会にあげて、策定部会では方向性や重要事項について決定しながら進めていく。	市小中一貫教育推進協議会を開催し、市の小中一貫教育の評価を行い、その都度改善を行っていく。同時に、このような協議会設置により、地域、保護者が小中一貫教育への参画する機会を増やし、啓発活動を行うことで、小中一貫教育の更なる推進を図る。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価(H24実績評価)		今回の評価(H25実績評価)	
所属長評価	小中一貫教育基本計画をもとに、平成24年度から開校までの3年をかけて、実施計画策定を行っている。新たな課題にも随時対応してきている。また、萩野地区以外の他中学校区における小中一貫教育についても、更に充実を図っていく必要がある。	所属長評価	新庄市小中一貫教育基本計画の策定を受け、平成24年度から3か年にわたり、萩野地区小中一貫教育実施計画の策定にとりかかっている。来年度の施設一体型小中一貫教育校萩野学園の開校にあたり、更なる、地域、保護者への理解と協力を求める機会を作ることで、学校と地域・保護者の連携協力による県内初となる小中一貫教育校のスタートを図っていく。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大				
<input type="checkbox"/> 縮小				
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 類似事業等がある ( )			
<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 調整事項あり	<input type="checkbox"/> 財源が不足
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 税金投入が不適当	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 効果が薄い
総合意見				